

## 学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

## 1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	英語教育の充実
評価指標	英検準2級・2級の合格者数 G-TEC for students(スコア型英語テスト) における目標スコアの達成率
計画名	「英語による発信能力（話す・書く）」育成プロジェクト

## 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	英語教育、国際教育のさらなる充実を図り、グローバル化の進む21世紀をしなやかに生きる生徒を育成する。 (1) 英語コミュニケーション能力のさらなる向上に取り組むとともに、論理的思考力・課題解決能力・探究力の育成を図る。 ア 少人数展開を行い、アクティブラーニングの手法を取り入れた授業を実施することにより、一人ひとりが主体的・意欲的に取り組む授業を実践する。ICT機器等を活用し4技能をバランスよく伸ばす。英検・G-TEC等の試験を積極的に活用する。
事業目標	「読む」「聞く」「話す」「書く」4技能のうち、特に課題がある「話す」「書く」の発信能力を向上させるため、民間の英語教育関連会社(ベルリッツ)と連携をし共同で指導法および教材開発を行う。またそのための学習環境を整える。そして、幅広い話題について発表・討論・ディベートなどを行う言語活動を豊富に体験させ、情報や考えなどを的確に理解し伝える能力を高める。英検準2級・2級の合格者数を毎年5%ずつ増やすとともに、G-TECの目標スコア達成率を平成29年度に10%、平成30年度には15%、平成31年度には20%とする。
整備した設備・物品	可動式机 12台 可動式椅子 30台 プレゼンター 6台 書画カメラ 3台 ホワイトボード 一式(2面)
取組みの 主担・実施者	首席+英語科全員+授業のあり方研究会メンバー(各教科代表者) 実施者: 全員
本年度の 取組内容	○教室の前後にホワイトボードを設置し、教室には、可動式の椅子と机を配備した。この教室(アクティブラーニングルーム)で、民間の英語関連会社から2名のネイティブ講師を派遣していただき、「英語トレーニング講座」を実施した。本講座では、希望生徒を英語の到達度別に2グループに編成し、英語の「話す力・書く力」の育成をめざした。グループ活動・ペア活動等をメインとした活動を実施した。また、広大なホワイトボードを両面に設置することにより、生徒の考えをすぐにホワイトボードに書き出すことができるようになり、グループ内での意見交換及び自分の意見をまとめるのに効果的であった。論理的思考力・課題解決能力・探究力の育成につながった。 ○また、英語等の教科の授業においても、本教室においてAL型授業をおこなった。
成果の検証方法 と評価指標	・英検2級の合格者数 30名 準2級の合格者数 60名 ・G-TECの目標スコア(500点)達成率 10%
自己評価	○本年度初めて、G-TEC全員受験を実施した。1・2年を対象とし、特に国際教養科の生徒は年2回(7月・1月)おこなった。ほとんどの生徒が点数を伸ばした。また、目標スコア(500点)達成率7%だった。(△) ○英検に関しては、準2級 79名合格(H28 57名)(◎) 2級 11名合格(H28 27名)(△) だった。
次年度に向けて	◎アクティブラーニングルームの活用を広げ、英語の授業においても積極的に活用する。また、スピーチ・ディスカッション等テーマに沿って自分の考えをまとめ発表へとつなげる生徒の論理的思考力・課題解決能力・探究力を伸ばす授業方法を研究する。その際、外部の英語関連会社と連携をし、課外の英語講座を開講し、教材等の開発を共同で行う。 ◎G-TEC受験において、スピーキングテストも実施をすることにより、4技能をバランスよく伸ばす。そして、500点達成率を10%とする。英検2級合格者については、20名を目標とする。準2級合格者を80名とする。